

秋季・年末斗争を強化する

総評臨時大会開かる

総評は定期大会後二月に於いて臨時大会を開催する、という異例の措置を行なったこと、いかに情勢が緊迫しているかを端的に物語っている。いまでも、日本連合の運命にかかわる日韓条約の批准阻止の闘いはますます緊急を要し、さらに人事院勧告の完全実施をせざるを得ない。この二つの闘い、二・一以来の出来事である。この二つの情勢にそなえて、臨時大会を開いたことは重大なる意義がある。

反戦平和の闘いで
一日共闘を強める
反戦平和の闘いについては、四千万署名に全力を向け、共産党との一日共闘を強めることに論議が集中された。

また共産党との一日共闘について、双方の実行委員会より連絡員を出し合って、一日共闘を更に強化・発展させて行くことを、社会党・総評との話し合いが、この臨時大会の主要な議題の一つとして、提議された。特に全通より、共同主催、共同行動については賛成できない、との意見もあったが、これを反響しておらず。

とくに反合理化斗争・反戦平和のたたかいは今後一層激化する情勢のなかで、新任務に対して新たな決意をしております。

今後私は「こころくしゅう」と思うときは、必ず山元の組合員・家族のきびしいたたかいを思い浮かべ、離れても共にたたかう者らしく頑張ります。

団結・抵抗・統一で、しっかりとたたかひ抜きましよう。

三池魂をもちつづけます

灰原茂雄



ともに指導・協力いただいた皆さま、あらためて厚くお礼申し上げます。

昭和三年以来書記長の重責に任じながら、しかも組合長はじめ皆さまのたたかいを支えがあったにもかかわらず、たたかいの中で何らみるべきもの無かったこと、今回、はからずも炭労本部事務局長に転出することになり、公私

解任に当って

前炭労委員長 古賀定



ましたが、一生忘れられないのは、安部三池の言葉で全国の仲間と共に闘った三池斗争です。

この闘いは、いまなお継続されています。私の任期中に三池の闘いを全国的に広めて、反戦体制を作り得なかったことを心からおわびいたします。しかし私にかわって三池斗争中も、その後の産別闘争に抵抗し、皆さまと一緒



CO患者家族の会代表、松永スミ子さん、井上初子さん、菊川久美子さんの3名は、総評臨時大会その他で、CO特別立法制定を成立させるよう訴えて活躍した。

熊本県評大会

反戦 反合方針決る

さる十月四・五の二日間、教育会館において熊本県評第一七回定期大会が代議員、一〇四名を集めて開かれた。

本大会は三池CO中毒患者の代表が挨拶をし、ヒラを配布し、支援共闘の呼びかけを行ない、非常な共鳴と感動を与えたことが出来た。

熊本県の場合は、自民党等本県政の反動政策と直接対決する中心勢力としての県評の役割は大きなものがあり、それだけに県民の期待も大きいと思われる。このことから、CO特別立法の制定に全力を注ぐ。

【宣言】
渡辺一雄さん(四〇才)
保線
千原廣蔵さん(四四才)
丙方材料
緒方進さん(四三才)
乙方機械
古賀健治さん(三八才)
乙方運搬
坂本保治さん(四二才)
乙方運搬

九月十七日、民放の人気番組「踊って歌って大合戦」に、三池の五人の仲間が出演し、みごと最高得点をえて、三池の組合員・家族は、全員の仲間から、拍手かっさいをあげた。

「テレビ放送、踊って歌って大合戦」の熊本放送は、一九七〇組の中から予選で四組が残り、その中に私たちも入りましたが、

みいけの闘いの風刺を表現

RKK番組踊って歌って大合戦 (17話)

放送当日は、職場の人たちが休んでテレビを見て応援してくれた。自分たちが出たような気持ちで、みんなで喜んでもらったときは、本当にうれしかった。知らない人からまで、激励の手紙をもらい、職場に笑顔を、という私たちの気持ちに少しも判ってもらえなかつた。うれしかったです。

「踊って歌って大合戦」に出演した5名の仲間たちの、三池魂を示した会場風景



「踊って歌って大合戦」に出演した5名の仲間たちの、三池魂を示した会場風景

三池大震災三年忌

追悼美術展

主催 三池 労組
三池美術サークル

三池大震災が保安無視の独占の出展強行によって、起されてから三年忌を迎えました。

三池には、いまなお保安は専横され、つぎつぎと仲間たちが、独立の合理化の犠牲となつています。この事実をみつめると、私たちの闘いの重大さがさらに身に沁みます。

講師は三池にはなじみ深い、労大生監の向坂逸郎先生による「まなご」という、一労働者階級の人生観について、労働者としての生き方についての講演が行なわれます。講演会には、三〇円の整理券を発行していますが、各まなご取扱者及び組合事務所にあります。

大牟田地区まなご記念講演会

一月七日、午前九時三〇分より延命会館ホールにおいて、まなご読者を中心とした記念講演会が開かれます。

講師は三池にはなじみ深い、労大生監の向坂逸郎先生による「まなご」という、一労働者階級の人生観について、労働者としての生き方についての講演が行なわれます。講演会には、三〇円の整理券を発行していますが、各まなご取扱者及び組合事務所にあります。